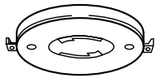
# 器具の取り付けかた

## 取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、器具が取り付けられます。

角形引掛
シーリングボディ

丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット

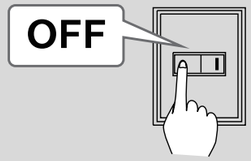
必ず守る

**●天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。**

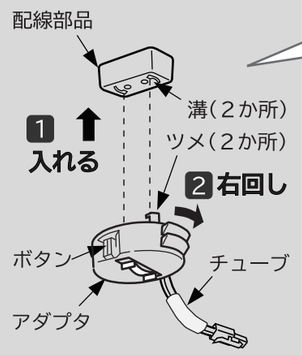
※工事には資格が必要です。

## アダプタの取り付け

**1** **電源を切ってください。**
壁スイッチを OFF にしてください。




**2** **配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れてください。**




**3** **右方向にいっぱいまで回してください。**
**（ロックが掛かり固定されます。）**

### アダプタの取り外しかた

**●ボタンを押しながら、左方向へ回してください。**

必ず守る

**●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。**

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

## 本体の取り付け

**4** **蛍光ランプなどを固定しているテープをはがしてください。**

※蛍光ランプに無理な力を加えない。破損によるケガや、故障の原因となります。

必ず守る

**●本体裏側のスポンジや虫ガードをはがさない。**

※回転防止や防虫効果のためです。

**5** **ランプソケットが確実に蛍光ランプの口金にに差し込まれ、ランプホルダーに確実に取り付いているか確認してください。**

※不完全な場合、火災や落下の原因となります。

➔ P.6

「カバーの取り外しかたとランプの交換方法」③、④をご参照ください。



## お好みボタンの設定

**1** **全灯** または **お好み** ○ ボタンを押し、蛍光ランプを点灯させる

**2** **明るさ**

ボタンを押し、お好みの明るさにする

**3** **お好み** ○ ボタンを押す(明るさ記憶)

※設定変更も、上記の手順です。

## 節電ボタンについて

**●その時の、蛍光ランプ点灯状態での消費電力から、約15％の消費電力を節電します。(明るさも変わります。)但し、明るさ(明 暗)ボタンで、一番暗い時の消費電力以下にはなりません。また、続けて節電ボタンを押した場合電子音は鳴りますが、さらに節電はしません。**

**※お好み、全灯、消灯、明るさ(暗 明)、LED保安灯のボタン を押すと、節電は解除されます。但し、明るさ(暗 明)ボタンを押した場合は、節電時の明るさからの調節となります。**

## このようなことにもご注意を

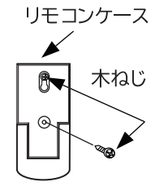
●リモコンと器具の間にしゃへい物があると、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
●ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
●温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用は、変形や故障の原因となります。
●リモコンを落としたり衝撃をあたえたりしないでください。また、水にぬらしたり、温度が高くなるところに置いたりしないでください。(操作不良の原因)

## リモコンケースの使いかた

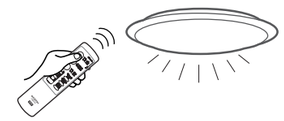
●リモコンをなくさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

**取り付けかた**

●リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本でしっかり取り付けてください。




●リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。

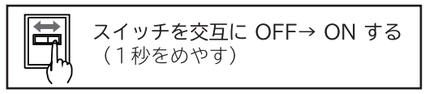


## 壁スイッチの操作

壁スイッチで次のような操作ができます。

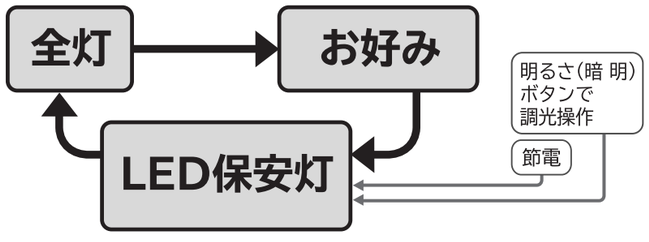
### 点灯モードを切り替える

壁スイッチを、約1秒を目安に OFF → ON すると点灯モードを切り替えることができます。




●節電ボタン、明るさ(暗 明)ボタンで操作後、切り替え操作をすると LED保安灯に切り替わり 全灯⇒お好み⇒LED保安灯と、繰り返し切り替わります。

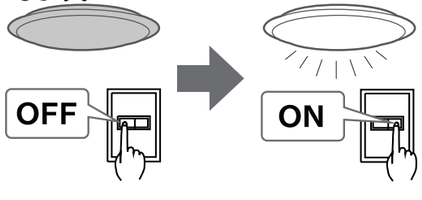
● 節電ボタンの節電は解除されます。




### 点灯・消灯

●壁スイッチをＯＦＦにして外出し、帰宅後、壁スイッチをＯＮにすると、壁スイッチをＯＦＦにする前の点灯モードになります。

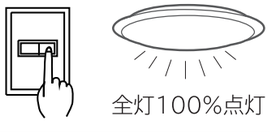
※但し、節電ボタンと、明るさ(暗 明)ボタンで操作をしていた場合は、お好み で点灯します。




### 便利な使いかた

●リモコンで消灯
(壁スイッチは ON のまま)

● OFF にした後、1秒めやすに再度 ON




ご注意

**●壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。**

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯モードの切り替えはできません。